

# メルマガ「運輸安全」第43号

□■□■□■□■□メルマガ「運輸安全」(H29.11.1.第43号) □■□■□■□■□

~~~~ (目次) ~~~~~

## (トピックス)

1. 東北運輸局拡大セミナー開催のご案内
2. 「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」の取組事例集改訂のお知らせ
3. 最新の運輸安全取組事例の紹介
4. 運輸事業の安全に関するシンポジウム2017
5. 第1回 国土交通大臣表彰
6. 第1回 安全統括管理者会議(安統管フォーラム)

~~~~~

## 1. 東北運輸局拡大セミナー開催のご案内

運輸安全監理官室では、運輸事業の安全の更なるレベルアップを図る場として、「運輸事業の安全に関するセミナー(拡大セミナー)」を東北で開催いたします。セミナーは従来東京、大阪のみで開催している「運輸事業の安全に関するシンポジウム」を、東京近郊以外の事業者の方も参加いただけるように各地方運輸局主催で開催いたします。本年は10月17日に開催した第12回「運輸事業の安全に関するシンポジウム」と連携したテーマにて開催することとし、運輸事業者全体の問題でもある「人手不足に起因する安全上の課題と対応」をテーマとします。テーマに関して一般社団法人視覚認知教育協会代表理事 藤川陽一様、株式会社ウエスト神姫代表取締役 須和憲和様に講演いただく予定となっております。ふるってご参加ください。

### ■東北地区における運輸事業の安全に関するセミナーの開催について

1. テーマ : 「人手不足に起因する安全上の課題と対応」
2. 開催日時 : 平成29年11月30日(木) 13:00~17:00
3. 開催場所 : 仙台国際センター(地図は[こちら](#))  
宮城県仙台市青葉区青葉山無番地
  - ・鉄道 : 仙台市地下鉄東西線国際センター駅下車、徒歩1分。
  - ・バス : 仙台市営バス『二高・宮城県美術館前』バス停下車、徒歩8分。  
宮城交通『二高・宮城県美術館前』バス停下車、徒歩8分。

※駐車場はございません。有料駐車場を利用頂くか、公共交通機関をご利用ください。

4. 受講定員 : 280名(先着順・原則1社3名まで)

※対象者:各運輸事業者において安全担当部署に所属する方

5. プログラム(予定)

13:10~13:40:行政報告:運輸安全マネジメント制度の現状について

(国土交通省大臣官房運輸安全監理官 三上誠順)

13:40~15:00:講演:年齢における視覚認知の変化と対応

(一般社団法人視覚認知教育協会代表理事 藤川陽一様)

15:20~16:40:講演:働きやすい職場づくりをすすめることで安全と人財を確保

(株式会社ウエスト神姫代表取締役 須和憲和様)

詳細・参加申込方法:国土交通省のホームページ(特設ページ)上で確認ができます。

[http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen\\_tk\\_000048.html](http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_tk_000048.html)

## 2. 「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」の取組事例集改訂のお知らせ

本取組事例集は、平成22年3月にガイドラインの附属書として作成されましたが、平成29年度ガイドライン改定に伴い改訂することといたしました。これまでの運輸安全マネジメント評価で得た、安全管理体制の構築・改善の取組情報を基に改訂を行っております。従前と比較して取組を186追加し、計263が収納されております。

今後は附属書とせずに国土交通省HPに公開されている取組事例を取り入れ、適時更新を行っていく予定です。

安全管理体制の構築・改善への参考として活用いただければ幸いです。

→ 詳細は [http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen\\_torikumi.html](http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_torikumi.html)

## 3. 最新の運輸安全取組事例の紹介

国土交通省では、運輸安全マネジメント評価等を通じて知り得た運輸安全情報の中で、運輸事業者において安全性が向上した事例、取組に苦慮された事例等を事業者のご協力のもと、「運輸安全取組事例」として幅広くHP等を通じて周知・公表させていただいております。この「運輸安全取組事例」が運輸事業の安全に関する取組のヒントになれば幸いです。

今回は、最新の運輸安全取組事例を3件紹介させていただきます。

## ○ 自社作成の「安全運転HANDBOOK」の活用

(事業者名：京成バス株式会社)

乗務員教育用指導マニュアルをより高度な「安全運転HANDBOOK」に改訂し、乗務員教育や事故発生時の分析に活用する取組。

→ 詳細は <http://www.mlit.go.jp/common/001207245.pdf>

## ○ ヒヤリ・ハット映像教材を各営業所で放映する取組み

(事業者名：京成バス株式会社)

各営業所からヒヤリ・ハット情報を取りまとめ、映像教材を作成し、教育教材としての活用、常時放映することで危険感受性向上を狙う取組。

→ 詳細は <http://www.mlit.go.jp/common/001207242.pdf>

## ○ バスジャック・テロ対策

(事業者名：京成バス株式会社)

バスジャック・テロ対策の初動対応を全社員へ周知・浸透を図ることによる、不測の事態等への対応力の強化を図る取組

→ 詳細は <http://www.mlit.go.jp/common/001207244.pdf>

## 4. 運輸事業の安全に関するシンポジウム 2017

第12回目の開催となる今回のシンポジウムは、今年創設された大臣表彰をシンポジウム内で開催し、運輸事業者の経営トップをはじめ多くの方々にご来場いただきました。

### 1. 運輸事業の安全に関するシンポジウム 2017

#### (1) 概要

テーマ：「運輸安全マネジメントのスパイラルアップ～今日的な課題への対応～」

日時：平成29年10月17日(火) 13:00～

会場：昭和女子大学人見記念講堂(東京都世田谷区)

主催：国土交通省

来場者：運輸事業者等約1,000名

#### (2) プログラム

○開会・主催者挨拶：高橋克法・国土交通大臣政務官

○第1回国土交通大臣表彰式

○行政からの報告：三上誠順・国土交通省大臣官房運輸安全監理官

運輸安全マネジメント制度の現状、運輸審議会答申「運輸安全マネジメント制度の今後のあり方について」等に関する説明を行いました。

○基調講演：小松原明哲・早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科  
人間生活工学研究室教授

「運輸安全マネジメントの今日的課題」に関して、安全・安定的サービス提供を乱す要素（社会ハザード、自然ハザード、技術ハザード、対象ハザード、人的ハザード）をご紹介いただくとともに、今後の輸送の安全に向けた解決方を提示いただきました。

○運輸事業者からの報告：

①和田林道宜・近畿日本鉄道株式会社代表取締役社長

伊勢志摩サミットにおける対テロ警戒の経験や、事故の芽情報の収集・活用、超音波を出す装置を利用した鹿の進入を防ぐ踏切やドローン利用などの新技術の活用等、自社の安全に関する取組についてご紹介いただきました。

②野坂高弘・ヤサカ観光バス株式会社運輸部部长

積極的な設備投資、深刻化する運転者不足への対応（20代前半の若年層を積極採用し、内部で育成）、バス事故の原因分析と対策等、大手貸切バス事業者としての安全確保の取組についてご紹介いただきました。

③龍神恒夫・株式会社AIRDO取締役（安全統括管理者）

2014年の国土交通省による嚴重注意・事業改善命令を受けたことを踏まえ、その後の安全管理体制の確立に向け、積極的に取り組んできたことについてご紹介いただきました。

○パネルディスカッション

（概要）

- ・ 酒井ゆきえ・フリーアナウンサーがコーディネーターを務め、パネリストとして基調講演者、「運輸事業者からの報告」登壇者に加えて、淀圭二郎・損害保険ジャパン日本興亜株式会社理事・リテール商品業務部長、河野春彦・国土交通省危機管理・運輸安全政策審議官が参加しました。
- ・ 人手不足・職員の高齢化、輸送施設等の老朽化、自然災害、テロ対策等の運輸事業を取り巻く環境の変化によって生じている今日的課題への対応方策や、課題解決に向けて行政や関係者に期待したいこと等について、それぞれの立場から討論を行いました。

## 5. 第1回 国土交通大臣表彰

運輸事業者における安全文化の構築・定着、継続的な見直し・改善に向けた取組を強力に支援するため、国土交通大臣表彰を本年創設し、第1回表彰を行いました。

表彰対象：運輸安全マネジメントに関する優良な取組において顕著な功績があった事業者、団体、個人

日時・場所：「運輸事業の安全に関するシンポジウム2017」において表彰

受賞者：・国土交通大臣表彰：（高橋克法国土交通大臣政務官より授与）  
運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会

・大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官表彰：

- ① JAL—G FDM/ANA—G FOQA情報連絡会
- ② 株式会社クレフィール湖東 交通安全研修所

## 6. 第1回 安全統括管理者会議（安統管フォーラム）

同業他社、あるいは交通モードの垣根を越えて、安全統括管理者や安全管理部門同士が交流を深めるため、「横の連携」の場づくりを目指し、本年より安統管フォーラムを創設しました。当日は多くの各社安全統括管理者の方々に参加いただきました。

### （1）概要

日時：平成29年10月16日（月）13：30～

会場：三田共用会議所（東京都港区）

主催：国土交通省

参加者：運輸事業者の安全統括管理者又は安全管理部門所属者約110名

### （2）プログラム

- 開会（河野春彦 危機管理・運輸安全政策審議官）
- 趣旨説明（三上誠順 運輸安全監理官）
- Jアラート・Em-Net への対応について（石塚智之 危機管理官）
- 取組紹介①「日通グループの安全管理について」  
秋田進・日本通運株式会社取締役 常務執行役員
- 取組紹介②「安全への取り組み」  
櫻井薫・東海汽船株式会社取締役（運航本部長）
- 取組紹介③「事故防止の取組について」  
平町隆典・広島電鉄株式会社取締役
- 「安全マネジメントにおける専門機関の活用」  
渋谷一秀・株式会社インターリスク総研常務取締役

(運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会幹事会社)

※フォーラム終了後、参加者によるネットワーキングパーティ（懇親会）を開催しました。